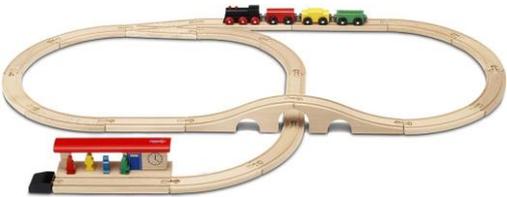
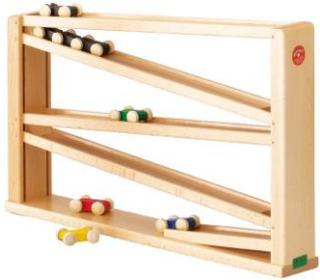


木のおもちゃ貸出一覧

種類	特徴
<p>1. ねじあそび</p> 	<p>いろいろなパーツの組み合わせができます。飛行機やロボットなど、想像力豊かに立体おもちゃを作ることができます。また、ネジを使って組み立てることで、手や指のほどよい感覚を身につけられます。</p>
<p>2. 汽車セット</p> 	<p>10歳頃までの幅広い年齢の子どもに人気のある汽車遊び。シンプルなデザインだが、子ども達はレールを自由に組みながら、空想の世界に没頭し、自分の気持ちを汽車に託して夢中で走らせます。ミニ積木などの小物を組み合わせることで遊びの世界がより広がります。</p>
<p>3. トレインカースロープ</p> 	<p>車をスロープにのせると、下へ降りて行きます。端までくると車は穴の中に落ちて半回転し、上下が逆になってまた下へ降りて行きます。単純な仕組みのおもちゃですが、子どもも大人も夢中になってしまう不思議な魅力があります。</p>
<p>4. サボテンバランス</p> 	<p>本体となる部分に大きさの異なるカラフルなサボテンをさしていき、うまくバランスをみながら、大きなサボテンに育てます。遊びながら、楽しみながら、バランス感覚や計画性・想像力・集中力を養えます。つかみやすい形状で、年代を問わずみんなで遊べるコミュニケーショントイとしても推奨されています。</p>
<p>5. ツミニー (Tuminy)</p> 	<p>荷台に何も積んでいないトラックをバックで車庫の奥まで入れると、出発の時にはトラックの荷台に積荷が積まれています。積荷を降ろしてまた車庫に入れれば、今度は違う色の積荷を積んで出発。何回も繰り返し楽しむことのできるおもちゃです。</p>

種類	特徴
<p>6. 大工さん</p> 	<p>穴があると不思議とのぞきたくなったり、指や物を入れたくなる…、好奇心のなせる業。ハンマーを上手に使えなくても、手や指先で押し込むことで遊べます。強く叩けば飛び出すペグ、またペグの動きが見えるのも特徴です。子ども自身の力を使って遊び込めるおもちゃは、子どもの好奇心をくすぐる嬉しいおもちゃです。</p>
<p>7. ジュージューくるりん!キッチン</p> 	<p>フライパンにステーキやお魚をのせて、コンロの上で動かすと、マグネットの力でくるりん!ひっくり返って焼き色のついた面が現れ、お料理完成。食材がひっくり返る仕掛けが楽しいコンパクトキッチンです。</p>
<p>8. 木ころん (200)</p> <p>9. 木ころん (400)</p> 	<p>一寸^{すん}×4寸^{すん}5分^ぶ(30mm×13.5mm)の県産ヒノキの板で作られた積木です。よく乾燥しており、木ころん同士が当たるとコロコロと高い音がします。積み上げたり、並べたり、様々な形を作って遊ぶことができます。ヒノキの香りや手触り、音も楽しんでください。</p>
<p>10. つみぼぼ</p> 	<p>飛騨高山の郷土玩具「さるぼぼ」をモチーフにした人形型の積木。頭はカエデ、体はスギとそれぞれ違う重さの樹種で作られていることで絶妙なバランス感が生まれ、思わぬ積み方ができます。高く積むだけでなく、並べてドミノ倒しをしたり、人形として見立て遊びをしたりとさまざまな遊びができます。</p>

令和4年度追加

種類	特徴
<p>11. リグノ</p> 	<p>立方体の積木は円柱にくり抜かれています。それを組み合わせて、繋げたり、つんだりしながら、写真のように様々な遊びができます。カラフルな色も魅力的。(塗料は安全なものが使われています)</p> <p>ネフスピールとあわせて遊ぶと、ますます遊びの世界が広がります。</p>
<p>12. ネフスピール</p> 	<p>立方体を斜めにカットされて作られた面白い形の積み木です。カット部分を組み合わせると、しっかりと積むことができます。</p> <p>写真のような複雑な形も作れます。</p> <p>リグノに慣れてきたら次のおもちゃとしてもおすすめです。</p>
<p>13. さかなつり</p> 	<p>釣り竿でさかなを釣ってみよう！針をさかなの目にひっかけて…。なん匹釣れるかな？</p> <p>積み木のようにさかなを積んで遊んでも楽しいです。</p>
<p>14. ピープパズル (しろくま)</p> 	<p>一番おくに隠れている動物はなにか？5重になった奥行きのあるパズルを、正しい順番ではめていきます。</p> <p>まるで動物たちがおはなししているように見えます。</p>
<p>15. アウリストロメール (クラシック)</p> 	<p>木琴のような打楽器です。打棒を使って、軽くたたいたり、内側をなでるようにくるくる回したりすると、心地よい音を奏でます。右回りと左回りで音の雰囲気違って聞こえます。また、底の方と上の方でも響きに変化があります。</p>